

[様式 9-1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	せいかだい保育所	施設種別	(旧体系: 保育所)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

令和2年3月26日

総評	<p>せいかだい保育所は、関西文化学術研究都市の中心にある公設民営の保育所です。京都市内、大阪市内への通勤圏であり、その利便性から現在も人口が増加している地域で保育事業のみならず、一時預かり、時間外保育、障害児保育、マイ保育所サポート事業、子育て相談事業をされています。</p> <p>保育理念として「一人ひとりの自立支援」「一人ひとりの自律支援」「共育ち支援」を掲げ、子ども自らが主体的に判断して行動出来るよう促すと共に、他人との協調や他者を思いやる心を育む中で、自らを律する心が芽生えるよう人的・物的の両面から保育環境を整備するよう心がけています。</p> <p>職員も正規・非正規・短時間職員と勤務形態の異なる中で、常に連携を心がけてそれぞれが保育者としての責任と自覚を持って、日々の保育にあたられています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 職員一人ひとりに育成評価シートがあり、目標や期待するところなどを明示しています。本人が行った自己評価の目標や反省に対し、管理職が丁寧にコメントを返すなど個々の成長を見守る取り組みがあります。 災害時に対応できるようにマニュアル及び備品の管理に取り組まれています。備蓄品を写真に撮り、目視で管理できるようにしたり、非常食を食べる機会を設けるなど非常時の焼き出し拠点としての意識を高く持って備えに取り組んでいます。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 食育計画を作成し、各クラスが年間で食事に関するねらいをもって保育をしています。調理に関わる職員と担任が定期的に給食委員会を設け、子どもたちの喫食状況を共有しています。みそ作りを体験したり、魚の解体見学、様々な調理の様子を発信し、園庭に常設された窯では火を起こして焼いたり、炊いたりすることもあります。 つどいを年3回行い、保護者にも食育を楽しみながら、意識をもらえる機会を設けています。4、5歳児クラスでは毎日子どもの前で炊飯器にてご飯を炊いています。
	<ul style="list-style-type: none"> 個別指導計画を作成し、定期的な見直しを行われています。また、子どもの発達過程などの記録をシステム化しICTを活用した情報の共有を図っています。今後は、利便化を図る際に取り扱う職員が十分に取り扱えるよう研修と共に互いの理解度を深めるよう相互チェックなどの取り組みを行うとより効率が良いでしょう。 各保育室は、きちんと整理整頓されていてとてもよかったです。きちんとされている分手洗いコーナーに掃除用具が立て掛けられていたのが、目に付いてしまいました。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

〔様式9－2〕

【保育所版】

評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	せいかだい保育所
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	令和2年3月26日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価		
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	a
[自由記述欄]						
・保育理念・基本方針は、入園のしおり（重要事項説明書）等に明文化されており、職員会議や園内研修の場で職員にも周知しています。保護者にも入園説明会時に丁寧に説明をし、園のホームページや各保育室にも掲示され、周知が図られています。						

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果		
			自己評価	第三者評価			
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	a	
		3	②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	a	
[自由記述欄]							
・顧問弁護士・会計事務所等から様々な情報収集したりアドバイスを受けたりし、経営環境の変化に柔軟に対応できるように努めています。行政担当者とも連絡を密に取り最新情報が得られるように努めています。							
・財務状況・職員体制・人材育成・保育内容の見直し等について分析を行い、課題や問題点を明らかにし、職員にも職員会議等で課題や問題点を明示し、改善出来るように努めています。							

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果		
			自己評価	第三者評価			
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	a	
		5	②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	a	
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	b	
		7	②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	b	
[自由記述欄]							
・社会福祉施設としての目的や役割を入園のしおりやホームページ等に明記しています。地域のニーズや自園の役割・展望を織り込んだ中・長期計画を策定し、定期的な見直しを行っています。							
・事業計画が職員参画のもと毎年見直しされ、次年度の計画に反映出来るようにしています。また、策定した事業計画は保護者や一般に向けてホームページなどで公表しています。個々の職員が等しく理解を深めて欲しい、保護者に分かりやすく届けたいという想いをより具体にできるよう、概要版資料の作成などを職員が参画して行うとより良いでしょう。							

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果		
			自己評価	第三者評価			
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	b	
		9	②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	b	
[自由記述欄]							
・年2回自己評価を行い、第三者評価も定期的に受診しています。研修計画を立てキャリアパス研修会等への参加も計画的に行い、持ち帰った情報を会議等を通して共有するなど、保育の質の向上に努めています。個別の研修計画を整理し、より個々に応じたスキルの獲得と各自の発信力を高めていくようにするとなお良いでしょう。							

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価		
II-1 管理者の責任と リーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	a
		11	②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	a
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	a
		13	②	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	b

[自由記述欄]

- ・施設長は、自らの役割・責任を明確にした文書を作成し職員に対し閲覧できる状態で明示しています。また、会議・研修において職員に説明を行い周知するよう努めています。
- ・遵守すべき法令等を正しく理解すべく、関係機関や顧問弁護士から情報を得られるように努めています。
- ・施設長自ら保育への関わりを持ち、保育実践に繋がる指導を職員面接等を通して行っています。また、研修・養成校の講師も努め、自園だけでなく広く保育の質の向上へ貢献しています。
- ・人事・労務・財務についても自らの責任を自覚・表明し、対応しています。また、業務の円滑化及び省力化を目指し、各クラスにタブレットやそれを使用した保育管理システムを導入するなど取り組んでいます。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価		
II-2 福祉人材の確保・ 育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事 管理の体制が整備されている。	14	①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	a
		15	②	総合的な人事管理が行われている。	b	a
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされて いる。	16	①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b	a

[自由記述欄]

- ・中・長期計画に人材確保が盛り込まれ、積極的に就職フェア等にも参加するなど計画的に人材の確保を行っています。
- ・新規採用職員については、職歴の近い先輩職員が担当者として個別に相談や指導を行うメンター制度を取り入れ、より馴染みやすく丁寧に指導と人材育成を行っています。事業計画に職員のキャリアパスを策定し、期待する職員像を明確にし、評価できるようにしています。
- ・年次有給休暇が取りやすい職員配置やワークライフバランスを考慮し、一つの役割を時間帯や曜日ごとに分けて複数人で共有するワークシェア制度を取り入れています。担当者同士が必ず重複して勤務する時間を設けることで情報の共有もしっかりと行えるよう、働き手と利用者へ配慮しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価		
II-2 福祉人材の確保・ 育成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確 立されている。	17	①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	a
		18	②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	a
		19	③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	a
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる 専門職の研修・育成が適切に行わ れている。	20	①	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	b

[自由記述欄]

- ・職員一人ひとりに育成評価シートがあり、目標や期待するところなどを明示しています。本人が行った自己評価の目標や反省に対し、管理職が丁寧にコメントを返すなど個々の成長を見守る取り組みがあります。
- ・研修についても、個々の経験値に応じた研修計画が策定・明示しています。
- ・実習生の受け入れマニュアルが、実習生側と職員側それぞれの立場で用意しており、プログラムも実習生の個々に応じ柔軟に対応できるように準備しています。指導する職員の水準を一定になるよう、求める水準を個々の職員が意識できるような相互チェック的な仕組みを策定し実施できればより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果		
			自己評価	第三者評価			
II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	a	
		22	②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	a	
[自由記述欄]							
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等で財務諸表等の情報を公開し、苦情解決の体制についても入園のしおりや施設内にも掲示し、周知に努めています。 ・顧問弁護士・税理士・会計士といった第三者的立場の専門家から適切な指導を受け、公正な経営・運営に取り組まれています。 							

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果		
			自己評価	第三者評価			
II-4 地域との交流、地域貢献	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	a	
		24	②	ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	a	
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	a	
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	①	保育所が有する機能を地域に還元している。	b	a	
		27	②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	a	
[自由記述欄]							
<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流の一環として卒園児の祖父母が参加するミニ運動会や地域のシニアボランティアと月1回交流を持ったり、子育て世代のニーズを収集し、未就園児を対象にしたチャイルドひろばや英語教室を開催するなど園が持つ資源を活用し積極的な働きかけを行っています。今後も、今まで同様地域ニーズを積極的に収集し、園の資源を還元するとなお良いでしょう。 ・ボランティアの受け入れに関して、マニュアルを整備し、開始前に園の方針や保育目標などの説明を行っています。また、個人情報の取扱いに関しても誓約書を作成しています。 ・現状に満足することなく、地域への貢献と福祉ニーズの充足に尽力していくことで、地域との関係をより良いものにできるでしょう。 							

III 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目			評価結果	
				自己評価	第三者評価		
III-1 利用者本位の福祉サービス	III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	b	
		29	②	子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	b	
	III-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	a	
		31	②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	a	
		32	③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b	

[自由記述欄]

・保育理念や基本方針に「一人ひとり」と明示し、子ども一人一人を個々の存在としてとらえ保育することを心掛けています。また、それらを職員が確認できるよう園内各所に掲示したり、園内研修を行ったりすることで職員周知に努めています。取り組みとして十分に行っていますが、より深い理解と意識統一を求めて研修の場などで個々の発表等を行われるとより良いでしょう。

・入園の際には、事前に個別対応で園の方針や保育内容など園の説明を行い、保育内容や情勢の変更などがある際には園長自ら保護者に声をかけ説明を行う等、積極的かつ迅速な対応を行っています。情報発信の際に職員間での認識の統一をより深い段階で行えるよう、園内の管理システムなどの効率的な利用方法を考案するとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目			評価結果	
				自己評価	第三者評価		
III-1 利用者本位の福祉サービス	III-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	a	
		34	②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	a	
		35	③	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	a	

[自由記述欄]

・苦情解決の仕組みは整備され、第三者委員などの連絡先も含め園内に掲示されています。個人懇談時は、懇談担当者を指名できるようになっています。意見箱が2か所に設置されています。より保護者が話しやすい取り組みや環境構成を心掛けています。

・保護者からの意見に関しては、エスカレーションルートや対応のマニュアルが整備されており、内容に応じて責任者が直接対応を行う等解決に向けて迅速に取り組む仕組みが組織的に構築されています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目			評価結果	
				自己評価	第三者評価		
III-1 利用者本位の福祉サービス	III-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	b	
		37	②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a	
		38	③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	a	
		39	④	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	b	

[自由記述欄]

・事故発生時や不審者侵入時の緊急時に応えるよう職員室に連絡先や各職員の役割が掲示されています。また、緊急時の対応に関しての各種マニュアルが各保育室に常備され、いつでも職員が確認できるよう取り組まれています。より深くそれぞれの役割に関する理解度を確認できるよう、相互チェックを行う等の取り組みを行われればより良いでしょう。

・ヒヤリハット等日常に潜む危険に対して記録を残し、職員間での共有を図られています。記録からどのように改善したのかを後追いし、これから環境構成に活かしていくような仕組みを構築すればより良いでしょう。

・災害時に対応できるようにマニュアル及び備品の管理に取り組まれています。備蓄品を写真に撮り、目視で管理できるようにしたり、非常食を食べる機会を設けるなど非常時の炊き出し拠点としての意識を高く持って備えに取り組んでいます。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果		
				自己評価	第三者評価	
III-2 福祉サービスの質 の確保	III-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な 実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されて いる。	a	a	
		41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立してい る。	a	a	
	III-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉 サービス実施計画が策定されてい る。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	b	
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	b	
	III-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に 行われている。	44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間 で共有化されている。	b	b	
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b	b	
[自由記述欄]						
<ul style="list-style-type: none"> ・標準的な実践方法に関して文章化されマニュアルとして各保育室に置かれており、保育の手法を実地で伝えるOJT環境が整えられています。 ・個別指導計画を作成し、定期的な見直しを行われています。また、子どもの発達過程などの記録をシステム化しICTを活用した情報の共有を図っています。今後は、利便化を図る際に取り扱う職員が十分に取り扱えるよう研修と共に互いの理解度を深めるよう相互チェックなどの取り組みを行うとより効率が良いでしょう。 						

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価		
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成 A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	46	①	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭 及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	a	a
		47	①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことができる環境を整備している。	b	b
		48	②	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b	a
		49	③	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	b	b
		50	④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	a

[自由記述欄]

- ・全体的な計画は職員が参画し、年に一度評価を行い、次の編成に活かしています。
- ・子ども一人一人が心地よく過ごすことができる環境づくりに努めています。
- ・子どもの発達過程や家庭環境など一人一人の子どもの状態を把握して指導計画を作成し、保育を実践しています。また、より深い受容ができるよう、保育士は日々研鑽を積んでいます。
- ・子どもが自分でしようとする気持ちを尊重しながら、子どもが理解しやすいよう写真など視覚の優位性を活用した掲示をする等、基本的な生活習慣が身につけられるように努めています。
- ・子どもたちが興味や関心をもった事象に対して、保育士が柔軟に察知し、保育実践で展開をする土壌があり、子どもが主体的に創造、発展できる環境作りに努めています。また、異年齢グループの活動を通して、子どもたち相互の関わりの中での成長が大切にされています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価		
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤	乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥	3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		53	⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		54	⑧	障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		55	⑨	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		56	⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a

[自由記述欄]

- ・0歳児保育室には看護師を配置し、常に健康状態を把握して、一人一人に応じた配慮が行えるようにしています。
少人数グループで保育を行うことで、一人一人の表情や思いを受け止めながら、ゆったりとした雰囲気の中で保育を行うように配慮しています。
- ・少人数グループでの保育を行い、一人一人の子どもの育ちに合わせた配慮をしています。
保育室には継続的な子どもたちの遊びを配慮するような環境整備に努めています。
- ・子ども一人一人の気持ちを大切にし、興味を持った活動を十分に楽しめるよう配慮しています。 保育所保育指針に基づき、総合的に計画、実践しています。
安田式遊具や運動遊びの時間を取り入れ、遊びの中で全身を動かす経験も大切にしています。
- ・障害のある子へは個別に指導計画を作成し、長期的な見通しをもって保育をしています。
- ・長時間の保育計画は担当保育士が一日の生活を見通し、連続性に配慮しながら作成しています。子どもたちがゆったりと安心して過ごせるように試行錯誤しています。
- ・小学校職員と会議や合同研修に参加することで、情報共有を図っています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目			評価結果	
			自己評価	第三者評価			
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	①	子どもの健康管理を適切に行っている。		a	a
		58	②	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。		a	a
		59	③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。		b	b
	A-1-(4) 食事	60	①	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。		a	a
		61	②	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。		b	b

[自由記述欄]

- ・健康管理に関するマニュアルを整備しています。
SIDS予防策として0歳児には呼吸アラームセンサーを導入し、0～2歳児の午睡時呼吸確認には舌圧子を使用しています。午睡時は全クラスにおいて、子どもの状態を常時確認できるような明るさに配慮しています。
- ・アレルギー疾患、慢性疾患等がある子どもについては、かかりつけ医と保護者との連携を密にして、子どもの状況に応じた保育をしています。
- ・健診結果は保護者へ通知するとともに、保育士間で周知し保育に反映させています。
- ・食育計画を作成し、各クラスが年間で食事に関するねらいをもって保育をしています。調理に関わる職員と担任が定期的に給食委員会を設け、子どもたちの喫食状況を共有しています。みそ作りを体験したり、魚の解体見学、様々な調理の様子を発信し、園庭に常設された窯では火を起こして焼いたり、炊いたりすることもあります。
つどいを年3回行い、保護者にも食育を楽しみながら、意識をしてもらえる機会を設けています。4、5歳児クラスでは毎日子どもの前で炊飯器にてご飯を炊いています。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目			評価結果	
			自己評価	第三者評価			
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	①	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。		b	b
		63	①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。		a	a
	A-2-(2) 保護者の支援	64	②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。		a	a
		65	①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。		b	a

[自由記述欄]

- ・連絡帳や個人懇談、日々の送迎時に保護者との情報交換を日常的に行っています。個人懇談以外でも保護者の相談を隨時受けています。
- ・虐待に関するマニュアルが整備されており、行政の担当者とも連携をしています。
- ・職員一人ひとりが自己評価を年に2回行い、保育所全体やクラスの平均値と自分の評価を比較して自己の課題に気付けるようにしています。
また、自己評価に加えて、職員相互の話し合い等を通じて、一人では気づけなかった保育のよさや課題の確認につなげています。